

生物の生息・生育場の保護活動

豊かな森・川・海づくり

「森は海の恋人」などと表現されるように、豊かな森から流れ出る水は、豊かな川、豊かな海、そして流域に豊かな生活環境を創造します。漁業関係者やNPO、行政等、様々な主体が植樹活動に取り組んでいます。



魚の産卵場づくり

アユは石のすきまに卵を産むことから、漁業関係者は産卵場となる場所を耕うんすることによって、産卵しやすい環境をつくるなど、河川の生態系保全につとめています。



魚道の機能維持・モニタリング

魚道等には砂や石、ゴミなどが堆積しやすいため、魚類等の生物が移動しやすいようにゴミなどを除去する取り組みが行われています。また、生物の移動状況をモニタリングすることにより魚道が有効に機能しているかチェックしています。



カワウ対策

近年のカワウの急増により、漁業被害や営巣地での糞害による木々の立ち枯れ等が深刻化してきており、駆除や追い払い等の様々な対策がとられています。今後も、漁業関係者、研究者、行政等が一体となり、広域的な対策を講じていく必要があります。



環境教育

川遊び・釣り教室

地域の子ども達を対象に、川に入って魚を探したり、そこで獲った魚を食べたりするなど、地域の川に親しみ、その役割を知るための活動を行っています。普段は川に親しむ機会が少ない子ども達にとって、川の楽しさを体感する貴重な経験となっています。



サケ稚魚の孵化・飼育・放流体験

漁業協同組合が中心となって、近隣の小学生などを対象に、サケ稚魚の孵化・飼育・放流体験を行っています。卵から育てることで、魚への興味が深まり、魚がすみやすい環境を維持していくことの大切さを学びます。



水質改善の取り組み



綾瀬川(埼玉県・東京都)

綾瀬川清流ルネッサンスII地域協議会では、水質調査、クリーン作戦、各家庭での取り組み、水環境モニター制度、浄化装置の設置など、水環境の再生をめざし活動しています。



霞ヶ浦(茨城県)

アサザプロジェクトでは、霞ヶ浦の再生を目指して、流域の小中学校での環境教育や、谷津田の保全、魚粉事業など、農林水産業や企業、行政などが協働で幅広く活動しています。



諏訪湖(長野県)

水質悪化が著しかった諏訪湖では、住民と行政、専門家が一体となり、工場の排水処理施設の整備や渚の回復、水草による浄化などに取り組んだ結果、水質も回復してきています。しかし、餌となるユスリカが減ってワカサギなどの成長が悪くなる等新たな問題も起きています。

地域の住民のみなさまや漁業関係者のみなさまの力が 必要とされています！

私たちの暮らしと密接に関わる陸水域の生物多様性に関心に向け、その保全に向けて行動を始めることは、すなわち、私たち自身の「暮らし」と「いのち」を守っていくことにほかなりません。

そして、陸水域の生物多様性の保全活動をすすめていく上では、河川や湖沼の豊かな恵みの価値を深く理解し、その変化を見守り続けてきた漁業関係者のみなさまの協力が不可欠です。

陸水域の豊かなめぐみを次の世代に引き継ぐことができるように、生物多様性保全のための取り組みを今すぐ始めてみませんか。

制作：環境省 自然環境局

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

電話：03-3581-3351(代表)